

「興津地区防災機能強化調整会議」

設立趣意書（案）

静岡県静岡市清水区由比西倉澤から興津東町地区（以下「当地区」）は、日本の大動脈である国道1号やJR東海道本線が通過する防災上重要な地域であることから、これまでも関係機関により、斜面の安定性等各種の調査が実施され、各所管毎（林野・砂防・道路・鉄道）に鋭意事業推進が図られています。

平成26年10月6日の台風18号による記録的な豪雨により、線路脇斜面が崩壊を起こし、JR東海道本線由比・興津間が不通となり、並走する国道1号も交通規制をとるなど、県内の旅客の遮断をはじめ、我が国の物流に大きな影響を与え、改めて当地区の重要性の高さを再認識しました。

これまでの教訓を踏まえ、当地区において基幹的陸上交通ネットワークの機能停止が長期に及ばぬよう、現状と課題を共有し、今後の防災機能の強化を図るため、興津地区防災機能強化調整会議を設立するものである。

<対象区間>

西倉沢直轄地すべり防止区域西端～洞第1トンネル東京側坑口まで

